



いきいき介護 Vol.82

発行／2023年3月23日

発行者／広島中央保健生活協同組合 介護事業部

15日は全職員で10の基本ケアの学習を行いました。「③トイレに座る」「④あたたかい食事をする」「⑤家庭浴に入る」についての重要性や留意点、環境づくりについて学びました。講師は生協くさつ24の和田管理者と草津かもめの村上所長でした。③～⑤は基本的な生活行為です。基本的な事を積み重ねていくことがADLやQOLの向上に繋がっていくことを学びました。また基本動作の回復段階には順序があり、一つ一つ順番に支援していくことが大切だと分かりました。

参加した職員からは、「正しい姿勢で食事をするように支援している方の食欲が増しているように思う。」「シャワー浴だけで済ませている利用者がいるが、なぜシャワー浴のみなのか確認しながら、課題があれば一緒に考えていきたい。」など前向きな意見を共有することが出来ました。今後も10の基本ケアが浸透するように学習を重ねながら、実施して良かったことなど事例の共有をしていきたいと思っています。



17日は法人ケアマネ学習会がありました。ヤングケアラー(YC)について「ケアマネこそYCの理解者に」をテーマにスクールソーシャルワーカーの三山 亮氏に講義をしていただきました。近年、ヤングケアラーという言葉を知る機会が増えてきましたが、ヤングケアラーという言葉を知るだけでも物事の見方は変わり、アセスメントは深まり、アプローチの選択肢は増えていくということ、介護している家族が子どもでも大人でも、その家族にも人生があり、利用者と家族の生活をそれぞれ個別にアセスメントする(ファミリーソーシャルワークの)視点を持つことが大切だということ学びました。様々な課題に気づくアンテナを養うため、今後も学んでいきたいと思っています。



今年度、介護事業部から4名の職員が感謝状授与式に出席しました。これまで共に働くことが出来て本当にうれしく思っています。お疲れ様でした。4月からも継続して働かれる方は今後ともよろしくお願ひ致します。

